

小学校で人気!

ゴミ教室 浜浦クリーンがボランティアで実施

身近な環境教育

小学校でおこなわれているボランティア「ゴミ教室」は、身近な環境教育として教師にも児童にも好評。多くの小学校に広がりにつつある。



子どもたちは目を輝かせてゴミ教室に参加する。特に、パッカー車は運転席にも実際に乗ってみたいことができ、一番人気だ。5月8日、植生南小学校

の従業員がボランティアで十年以上続けているもので、今年も同市内の四つの小学校へ行った。

従業員が先生に

ゴミ教室とはどんな内容なのか。五月八日の羽支野市立植生南小学校での授業を紹介する。当日の午後一時半から三時半まで、五、六時間目の正規の授業で行う。集まった児童は約八〇人、場所は体育館と運動場だ。

前半は、ゴミ収集の話。家庭から出るゴミの種類(可燃、不燃、資源)と、分別の仕方などを従業員四人が持参したボードを使って説明していく。続けて、一日の作業の流れとゴミ焼却場について話す。

パッカー車が大人気

有限会社浜浦クリーン(柏原市)は毎年四、五月、羽支野市の環境教育の授業の一環として小学校へ出向き、ゴミ教室を実施している。小学四年生

一家庭が一年間に出すゴミの量や分別の種類などクイズ形式で進行。さらに、仕事の過程で体験した事故(可燃ゴミにスプレー缶が入って起きる火災事故など)を語り、子どもからの質問と応答が続く。「ど

うしたらゴミが減らせるか考えるきっかけにしてみたい」と同社の南部和幸さん。後半は、運動場に出て収集車(パッカー車二台)の構造などを説明。運転席にも実際に乗ってみたいことができるため、毎回、児童たちが一番人気がある。この日も行列ができた。十分間の待ち時間ができたほ

☆はまうら佳子の元気が出るコラム

梅雨の季節になると、亡夫・浜浦亀蔵のことを思い出します。ユニークな発想と大胆な行動力で、在野の立場から環境問題で社会に情報を発信し続けた人でした。

家業の委託清掃業をベースにゴミ問題に取り組み、地域の人々にいかに理解してもらおうか、という発想から「リサイクルフェア」をはじめ、様々なイベントを開催。リサイクルやエコロジーという言葉がまだ市民権を得ていない時代、テレビやマスコミの取材も殺到し、話題になりました。

いつしか彼につけられた愛称が「ミスター・ゴミ」。口ぐせのようにこう語っていたのを思い出します。「住民から“もったいない”と

いう心が失われたら、ゴミが増えるだけでなく、社会そのものが壊れてしまう」

亀蔵が提唱した「もったいない運動」は時代を先取りしていました。亡くなる直前まで旺盛な活動を続けてい

ましたが、2004年5月29日、惜しまれつつこの世を去りました。ところが、いま、この「もったいない」は「MOTTAINAI」という国際語になって世界各地に広がっているのです。

ケニア出身のワンガリー・マータイさんが、国連やサミットなどで語っているからです。彼女がノーベル平和賞を受賞したのが2004年。わたしは勝手に奇しき縁を感じています。



チェンジ

パトロール

日本の学校制度は小学校六年、中学校三年、高校三年の「六・三・三制」。最近この区切りを変え、中高一貫校、小中一貫校が出てきている。柏原市でも一昨年四月から堅上小中一貫校が始まっているが、どこまで成果があるのか不透明である▼先日、保護者の方からメールが届いた。「橋下府知事のもと現市長と教育委員会が柏原市の公立小学校と中学校を一貫校にしようという動きがあるのをご存知でしょうか」との書き出しで始まり、PTAには何の報告も説明もないまま事態が進んでいることへの不安を吐露していた▼少人数によるきめ細かな授業、豊かな自然の中で体験授業など、志は立派だが、市の本当の狙いは財政難を名目にした学校の統廃合にあるようだ。跡地の転売が主目的ではないか、というウワサも耳にする。事実とすれば由々しきことだ▼教育行政が一時の流行に走っていないはずがない。先のメールはこう結んでいる。「中学校がない小学校の校区の父兄の不安感、子供達も母校の存続を心配しております」

今年の夏には、柏原市議会議員選挙が実施される。柏原市の将来を左右する重要な選挙だ。政治家のモラルや資質を問うことは大事だが、その政治家を選ぶのはわれわれ有権者。選挙に関する正しい知識と見識が何より大切だ。不正のない選挙のため、次のことはぜひ知っておきたい。選挙違反で最も悪質な犯罪が買収。金品をもって、有権者に投票または票の取りまとめを依頼する行為だ。法律上たと

私たちの主張

えジュース一本でも罪は成立、と云っていたという。これは明らかに寄付行為違反であり、処罰されると公民権(選挙権・被選挙権)停止の対象となる重い罪だ。

クリーンな選挙の実施を

有権者の見識で不正なき市政をめざそう

同様に、地域の野球大会などへの差し入れ、祭への寄付、歳暮や中元なども禁止だ。有権者が求めてもいけない。また、選挙運動目的での個人

宅や会社の個別訪問は禁止。選挙に立候補することを告げれば事前運動となり違反となる。行政協力委員(区長)が選挙運動に関与することは禁止されているが、柏原市では、候補者自ら区長に協力を依頼する事例が多数あり、市民から苦情が寄せられている。選挙違反を犯す候補者に、不正のない市政の実現は期待できない。有権者は、各候補者の選挙運動を厳しく見つめたい。えで投票する必要がある。

information

イベント等のお知らせ

■パパと遊ぼう!講習会
【7月5日(日)/午前10時~11時/健康福祉センターオアシス3階/地域交流ホール/講師=千代田短期大学・竹内進/対象=1歳半~就園前のお子さんとパパ50組/締め切り=6月22日(月)/問い合わせ=スキップKIDS(電話973-5519)】

日頃、忙しくて子どもと遊べないパパ。身体を使ってお子さんと思いきり遊んでみませんか?

■親子おしゃべりサロン「ゆめ」
【毎週木曜日/午前10時~午後1時/旭ヶ丘2丁目4-15/問い合わせ=975-3833/料金=1回100円/対象=幼稚園・保育園に入園前のお子様/出入り自由】

家の一室を借りて、ママと子供たちで楽しく過ごせるスペースがオープンしました。スペースに限りがありますので10組で締め切らせていただきます。

■母子家庭のための就業支援講習会
【①パソコン初級講座=7月25日~9月26日(全10回-毎土曜日)/②簿記3級講座=7月25日~11月7日(全12回-土曜日)/③ヘルパー2級通信講座=9月19日~3月中旬(全15回)/大阪府谷町福祉センター】

申込み方法・費用・日程など、くわしくは、母子家庭等集合・自立支援センター(電話=06-6762-9995)まで。